

丹沢のまもり

Safe Mountain-climbing, Enjoy Mountain-climbing.

令和3年11月号
神奈川県秦野警察署
山岳遭難救助隊発行

あの時の遭難、

こうすればよかった!

●塔ノ岳や鍋割山など、秦野警察署管内の山は遭難が多発。特に9月から10月に連続発生し、10月には昨年1年間の発生総数を超えてしまいました。今回はありがちな遭難を例に、どうすれば回避できたか考えます。

「下山が遅れ、途中でまっ暗に！何も見えなくて救助要請・・・」

☞こうすればよかった!

《計画で防止》早出早着が登山の基本。登る山とルートを決めたら、下山時刻から逆算して時間を決めましょう。休憩時間を考慮する事を忘れずに。

《ライトを用意》万が一、下山が遅れて暗くなってしまうても、ライトがあれば自力下山できたかもしれません。

「久しぶりの登山！調子良いし、どんどん登ろう！（数時間後）すごく疲れた・・・休んでも回復しない。動けなくなっちゃった・・・」

☞こうすればよかった!

《計画的な休憩》登山はペース配分が重要。最初に30分登ったら5分休憩、その後は60分毎に10分休憩など、計画的に休憩を。気分に合わせてどんどん進むとバテの原因に。

《こまめな栄養補給》エネルギー切れもバテの一因。アメやチョコレート等で定期的に栄養補給を行いましょう。お昼まで何も食わずガマンするとバテに繋がることも。

●これらは数ある事例のうちの陥りがちなものです。出発前の準備、登山中の注意、遭難への備えの何れかが欠けると、遭難のリスクが高まります。楽しい思い出にするために、安全への備えもしっかり行いましょう。

令和3年山岳事故発生状況

- 10月中 当署管内での山岳遭難事故
4件

| | |
|----|----|
| 軽傷 | 3件 |
| 無傷 | 1件 |
- 1月から10月末までの山岳遭難事故
25件 26人

【タンカに重りを乗せ、沢で遭難者を運ぶ訓練をしています】



10月の救助隊の活動
今月は沢での遭難を想定して訓練を行いました。沢での救助は、遭難者を搬送する際に、大小の滝や、濡れた岩場などの不整地を通過しなければならず、高度な技術や隊の連携が重要です。今回はその点に焦点を当てて訓練を行いました。

秦野警察署山岳遭難救助隊

【秦野警察署】0463-83-0110



twitter



ホームページ